

語り継ぐ
盛岡物語

出演

畑中美耶子

大塚富夫

永井志穂

村山恵美

鏡浩史

語り継ぐ盛岡物語・朗読劇「開運橋物語」が好評につき再演決定！

鈴木彦次郎氏の「巷説城下町」を下敷きに
架橋から、悲恋の物語、二度泣き橋の逸話までを
オリジナルな構成で綴る。

畑中美耶子の盛岡弁の語り、軽妙かつ格調ある大塚富夫の語り
約150年の歴史を刻む浜藤ホール（旧酒蔵）にて。

岩手・盛岡で独自に進化した朗読劇で、盛岡物語を語り継ぐ！

朗読劇

開運橋物語

（鈴木彦次郎著「巷説城下町」より）

脚本・演出 坂田裕一

平成30年

2/25日 13:30 開場 14:00 開演

【一般】
前売 1,200円 | 当日 1,500円

【学生・シニア65才以上】
前売 1,000円 | 当日 1,200円

もりおか町家物語館 浜藤ホール（盛岡市鉈屋町10番8号）

主催：盛岡市、特定非営利活動法人いわてアートサポートセンター
特定非営利活動法人盛岡まち並み塾

もりおか したまち小劇場祭 2018

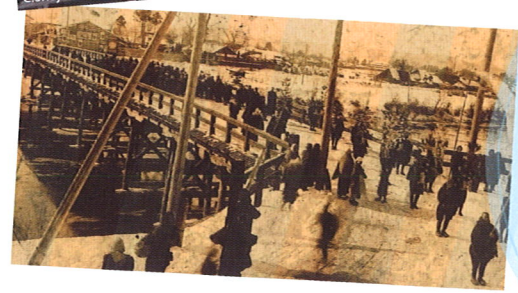
語り継ぐ 盛岡物語

平成30年
2/25日 13:30 開場 14:00 開演

【一般】
前売 1,200円 | 当日 1,500円
【学生・シニア 65才以上】
前売 1,000円 | 当日 1,200円

プレイガイド
・もりおか町家物語館
・プラザおでって
・カワトク
・いわてアートサポートセンター
風のスタジオ

チケット
予約は
こちら



朗読劇 開運橋物語

(鈴木彦次郎著「巷説城下町」より)

もりおか町家物語館 浜藤ホール (盛岡市鉈屋町10番8号)



鈴木彦次郎プロフィール

明治31年東京市深川区に生まれ、明治36年盛岡市に転居。桜城小学校、盛岡中学校、旧制一高などを経て東京帝国大学に進学。大正10年、川端康成らとともに同人誌「新思潮」創刊。大正12年以降「文藝春秋」「文藝時代」の発刊にかかわり、小説や戯曲・随筆などを発表。昭和3年頃からは時代小説や大衆小説、相撲小説などで人気を博す。昭和19年、盛岡に疎開。岩手県立図書館長や岩手県教育委員などを務める。「街もりおか」の発刊、雑誌「北の文学」発行など岩手の文芸発展に寄与した。昭和50年7月23日死去。

脚本・演出 坂田 裕一

劇団赤い風所属。日本演出者協会会員。岩手県演劇協会会長。赤い風公演のほか、おでってリジョナル劇場、奥州市民文士劇、二戸市民文士劇、盛岡市制百周年市民の舞台、岩手芸術祭開幕フェスティバルなど多数の演出を手掛けるほか、朗読劇では、高橋克彦百物語をはじめ、宮沢賢治や石川啄木、森荘巳池をはじめ多くの県出身作家の作品を演出する。

出演



畑中 美耶子
IBC岩手放送アナウンサーを経て現在はプロ・アナウンサー・ネットワーク(株)パネット経営。アナウンサーとしては勿論役者としても活動している。2011年から「もりおか歴史文化館」館長を務める。



大塚 富夫
軽妙な話術でラジオ番組を中心に活躍。JNN・JRN アノンシスト賞7回受賞。番組「ラジオ文庫」ほか、各地で催される公演など朗読に意欲的に取り組む。IBCアナウンス学院・朗読クラブ講師。



永井 志穂
劇団赤い風所属。朗読劇の主な出演作品は 2012年朗読劇「12の贈り物」より「野ざらしの唄」「桃の花が咲く」、2016年「あの日から」出版記念朗読劇「水仙月の三日」など。



村山 恵美
東京都世田谷区生まれ。幼少期を岩手郡岩手町で過ごす。盛岡の劇団よしこに所属。少年から老婆まで幅広い役を演じている。



鏡 浩史
文学座等で演劇を学んだのち同劇団制作業務に従事。朗読劇「高橋克彦百物語」、文化復興支援フォーラム「詩劇」等出演。現在、おでってホール、啄木賢治青春館での文化事業に携わる。

スタッフ

照明 工藤 雅弘
音響 刈屋 千帆子
スライド操作 豊岡 広伸
主催 盛岡市・特定非営利活動法人いわてアートサポートセンター
特定非営利活動法人盛岡まち並み塾

問合せ もりおか町家物語館
〒020-0827 盛岡市鉈屋町10番8号 TEL 019-654-2911

「語り継ぐ盛岡物語」は、盛岡の伝説、街並み、暮らしの文化の物語を朗読劇の形で語り継ぐ企画です。朗読劇が大好きな、アナウンサー・俳優・演出家などが知恵を絞って、朗読劇用のオリジナルな物語に仕立て、市民の皆さまにお贈りいたします。第1話「おかんの墓」(作・演出：伊勢二郎)は平成27年7月15日、盛岡市の大泉寺本堂にて公演を行い、第2話「開運橋物語」は平成28年2月27日に風のスタジオにて初演を行いました。